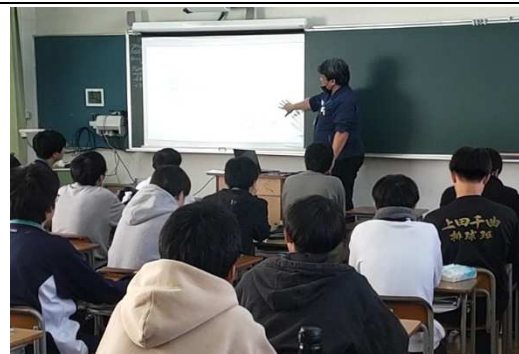


グループワーク（社会人との対話）

導入（業務内容の紹介等）

グループ対話



真田 KOA 株式会社 熊沢様、岡野様



シナノケンシ株式会社 長谷川様



有限会社長野エーシーエス 杉原様



上田プラスチック株式会社 武様、山浦様、堀籠様

地域で活躍する社会人との対話を通して将来像を連想し、これからのキャリアを考える動機付けにすることを目的に、導入（業務内容等の紹介）の後、グループごとに「社会人との対話」を実施しました。

学生の感想等（ワークシートから抜粋）

・最終的にやるのは自分なんだということを感じました。高校生のうちから勉強して知識を身につけることが将来就職した時に役に立つのかなと感じた。

・学習欲と広い知識、豊かな考え方が、工業の世界では重要になっていくのだと思いました。

・学校でやっている CAD 製図や制御はしっかりと会社でも使っているのだなと知ってよかった。

・1つのものを作るのに多くの人が関わっていることが分かりました。

・設備技術に限らず、1からものを作るというのは、想像力であったり、さまざまな加工の技術などが必要になるので、今のうちからマルチなスキルを身につけたいと思った。

・自分のやりたいことについて考えて、自分のために生きる方法などを考えようと思った。

・工業学科だから工業に就職ではなく、広い視点で職というものを知れていけたらいいなと思いました。

・技術が人の生活を支えることを知り、ものづくりの価値を強く感じた。

・高卒の就職にも、進学から就職でもそれぞれメリットがあると分かった。お金のことなど自分のためによく考えて就職を決めることが大切。

・自分のために今からできることは全部して、将来につなげたいと思った。

・楽しくない物のなかから、楽しめる物、気付けていない楽しいことを探すことで、仕事を楽しめると思いました。

・ITの世界が自分には遠いと思っていたが、話を聞いて身近に感じた。もっと積極的に知識を広げたいと思いました。

・最後に言っていた、どんなにいやなことでも1日に1回でいいから10分間だけやってみるという言葉が心に残りました。たくさん失敗しても何かをやってみることが大切

・自分のモチベーションを振り返るいい機会になった。

・自分の現状を知ること、より深い学習に繋がったり、進路選択の幅を広げられると思いました。

・班活の話や日常生活の話などができてよかったです。

・加工方法に興味があり、工程がすごく面白くて、製造業への興味が高まった。

・高校で勉強したことは、仕事をするとき何かしらのきっかけになると分かった。